

# 輸出事業計画

※申請者名：熊本県経済農業協同組合連合会 品目：メロン

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

熊本県の農業産出額は全国第5位の3,477億円（令和3年）であるが、そのうちメロンは約115億円（令和3年）を占めており、野菜では本県第3位の生産品目である。

メロンは本県の主要品目の一つであるが、産地の規模は年々縮小しており、人口減少による国内市場の縮小も想定される中、国内流通向けの生産体系のため、成長を続ける海外市場のニーズを意識した生産ができていない。また、輸送中の箱潰れや鮮度劣化によるロスが発生し、海外現地バイヤーから信頼を落としている現状がある。

### 【課題】

輸出拡大に向けては、国内流通向けの生産方法から海外ニーズや輸出先国の規制に沿った生産方法の転換を図り、また、輸送中のロス率低下に向けた、箱潰れ防止対策、品質維持に向けた鮮度保持資材・技術の導入、国内物流時間の短縮に向けた輸出ルートの最適化が必要である。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

### 【生産・加工】

・近年、青肉メロンと比較し、赤肉メロンの海外需要が高まっていることから、赤肉系新品種「レノンメロン」(種子部が小さく、日持ちも安定)の導入を促進し、海外ニーズの高い品目への転換を図る。

・管内JAや生産部会、生産者が海外渡航し、輸出先のニーズ把握や売り場を視察、また、バイヤーとの意見交換を通じて、輸出現場を体感し、輸出に対する意識醸成を図る。

### 【物流】

・物流業者と連携し、県内選果場への一括集荷、輸出梱包作業の集約による物流の効率化を図る。

・鮮度保持剤や積載強化資材、新たな鮮度保持技術の導入によりロス率の軽減、長期保管による出荷時期拡大を図る。

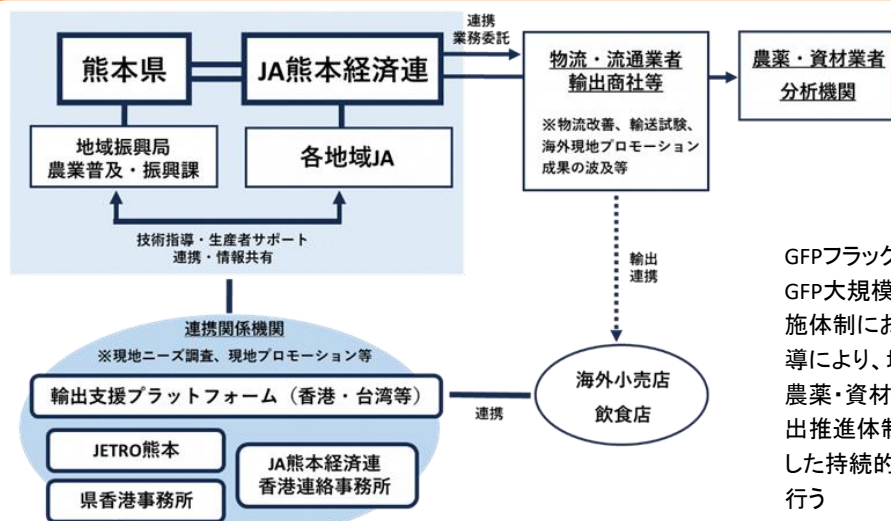
・積載方法や産地バンニングについて、産地出荷から海外販売店までの物流状況を各拠点で調査検証し、最適化することで、ロス率の軽減、物流コストの削減、輸送時間の短縮を図る。

### 【販売】

・既存国（香港、シンガポール、マレーシア、マカオ）では継続取引に向けた、新規国（アメリカ、UAE）では安定的な数量の出荷に向けたフェア・試食販売会等の開催、商談会への参加により、認知度向上を図る。

・輸出先国、一般消費者向け、高所得者層向けそれぞれのニーズに対応した等階級の選定、パッケージの開発、化粧箱等の作製を行う。

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト及びGFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト実施体制においては、熊本県とJA熊本経済連の先導により、地域の関係者（物流業者、流通業者、農薬・資材業者、輸入業者等）が一体となって、輸出推進体制を構築し、海外の規制・ニーズに対応した持続的な生産への転換、流通体系の転換を行う

4. 輸出目標額

		現状 (令和4年度)	目標 (令和8年度)
熊本県内全域	輸出額 (千円)	45,453	46,496
	輸出量 (t)	60.4	61.6
	輸出先国	香港、シンガポール マレーシア、マカオ アメリカ	香港、シンガポール マレーシア、マカオ アメリカ、UAE
	取扱量 (t)	8,736	8,746